人口動態と人口推計

～江戸川区のひとびとの現在と未来を分析しました～

詳しくはこちら

少子高齢化が進む中、これからの区の施策をどう考えていくのか。その基礎資料とするため、区の「人口」の現状分析と80年後までの推計を行いました。このデータを活用し、区は「だれもが安心して自分らしく暮らせるまち」を目指していきます。　問都市戦略課推進係☎5662-0323

過去

20.9万人だった

区の人口はこの70年間に着実に増え、2019年７月10日に初めて70万人を突破しました。そして、2020年から2025年にピークを迎え、その後は緩やかに減少を始めます。

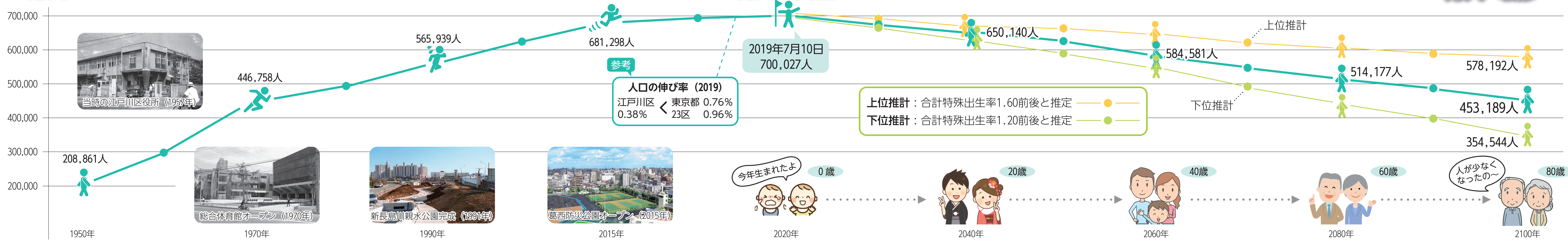
現在

70万人を突破 UP

今年生まれた子の平均寿命である80年後の2100年には、区の人口が45.3万人まで減ると予想されます。

未来

DOWN **45.3万人へ減少**



基準）国勢調査・住民基本台帳

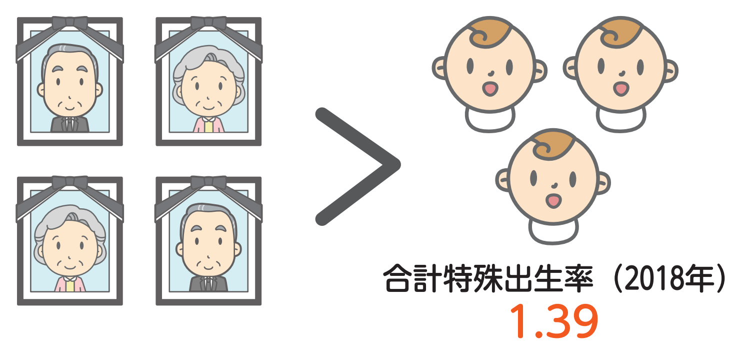
80年後のひとびとの動きを4つの視点で見てみましょう

① 高齢者

現在

自然減で高齢化率が進展

現在は、死亡者数が出生者数を上回る「自然減」の局面にあります。



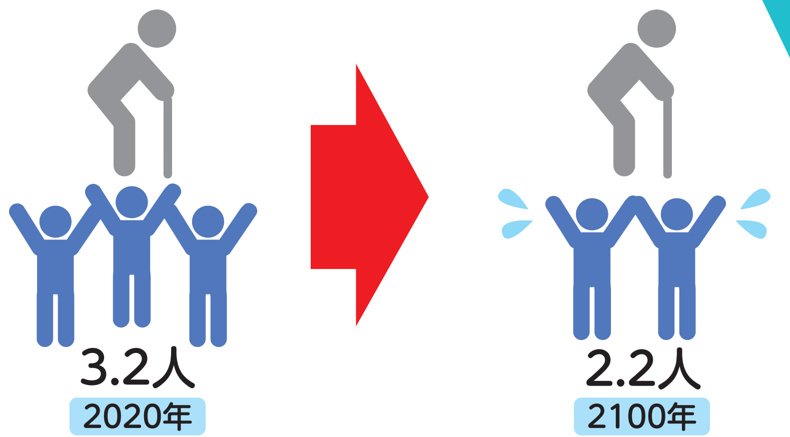
合計特殊出生率（2018年）1.39

※自然動態は（出生者数－死亡者数）で算出

未来

27.9%の高齢化率（65歳以上人口）

働く世代（＝生産年齢人口）が減少し、高齢者一人を支える人は、2100年には3.2人から2.2人に落ち込むこととなります。

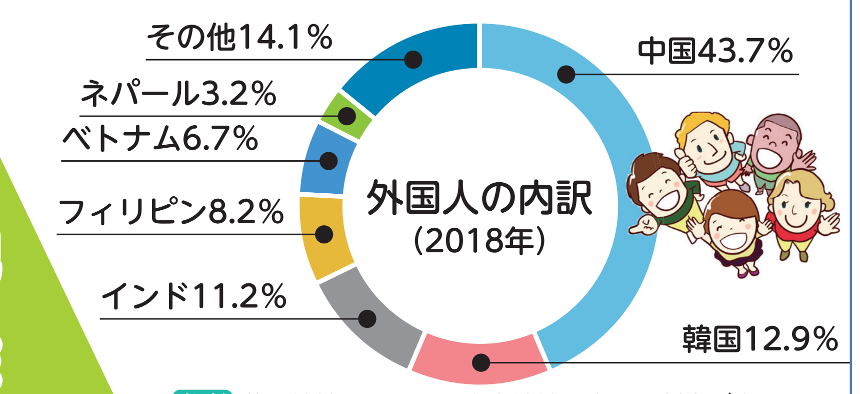


② 外国人

現在

転入者の４人に１人が外国人

外国籍の方は年に2000人以上増加しており、外国人人口は35,710人（2019年１月１日時点）で23区では新宿区に次いで２番目の多さです。転入者の４人に１人の割合になっています。

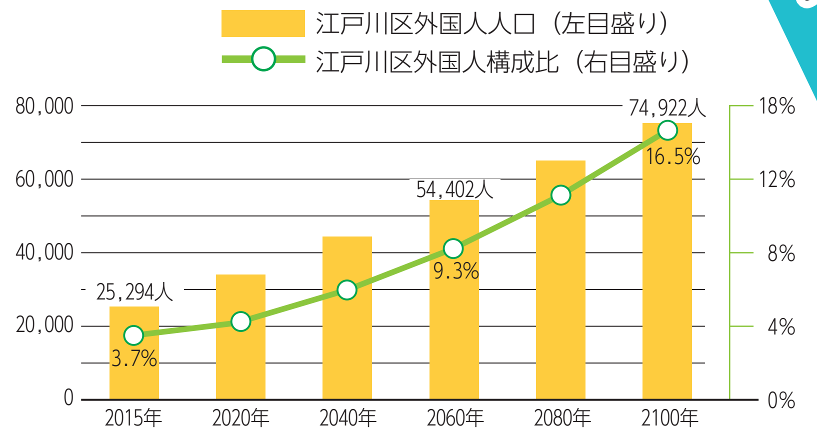


参考 葛西地域はインド、小岩地域は中国の割合が高い。

未来

16.5%の外国人人口

国や都における外国人の増加に伴い、区の外国人人口も2100年までに約7.5万人となります。



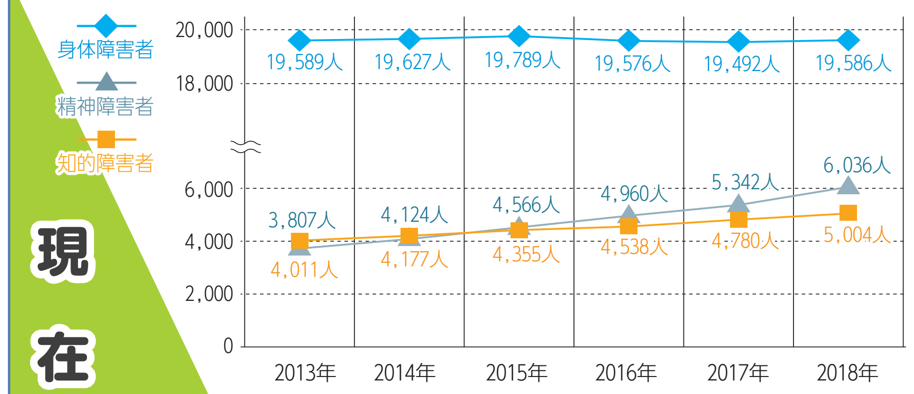
※2015年の江戸川区外国人人口は住民基本台帳人口の実績値（１月１日時点）。

③ 障害者

現在

自分らしく安心して暮らす

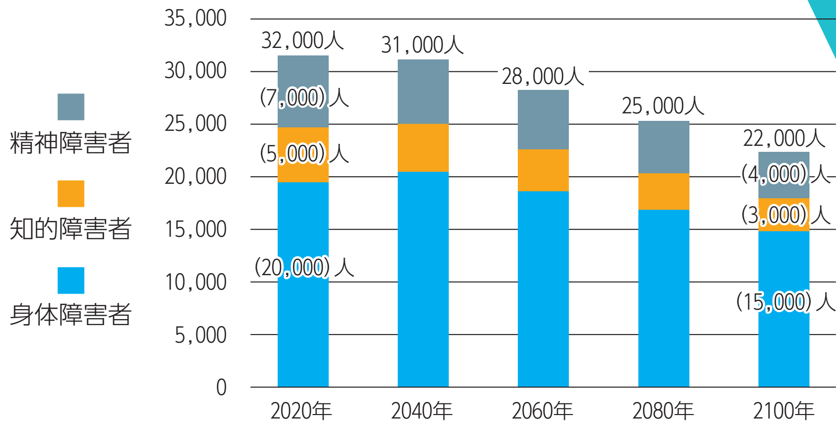
人口の増加や医療の発達、障害への理解が進んだことから障害者手帳を持つ方が増加傾向にあります。



未来

高齢化の進展と減少

高齢化が進むとともに身体障害者はいったん増加しますが、その後人口の推移に合わせ障害者数全体は減少します。

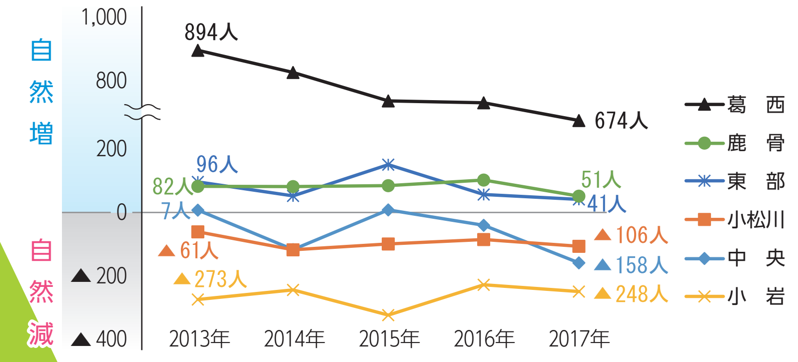


④ 地域人口

現在

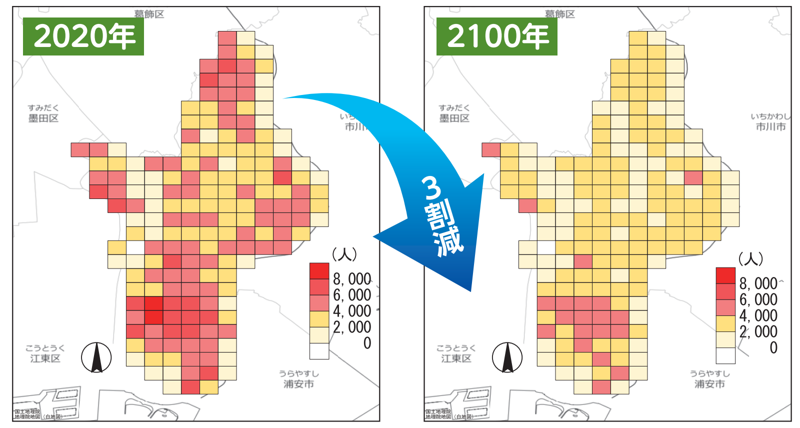
3地域では自然増を維持

区内を６つの地域に分けると、人口は全ての地域で増加基調にあり、葛西・鹿骨・東部地域は自然増を維持していますが、小岩地域などすでに自然減に入っている地域もあります。



参考 平均年齢は葛西地域が41.49歳と一番低く、小岩地域が45.92歳と一番高い。

未来

人口が３割減少

80年後には、各地域で約３割の人口が減少します。葛西地域の減少数が一番多く、減少率は小岩地域が約４割で一番高くなります。